

## 総合教育会議 会議録

平成 28 年 12 月 15 日  
五ヶ瀬町役場応接室

1. 出席者 首長側 : 町長 原田 俊平  
教育委員会側 : 教育長 島寄 善真理  
教育長職務代理者 松本 学  
教育委員 興梠 瞳  
教育委員 石井 勇  
教育委員 寺本 俊文
- 説明者等 : 総務課長 小迫 幸弘  
行政グループ長 北島 隆二  
教育次長 武内 秀元
2. 進行 総務課長 小迫 幸弘
3. 書記 行政グループ長 北島 隆二 教育次長 武内 秀元
4. 協議
- (1) 町立学校施設改修について (非公表)
  - (2) 町史再編さんについて (公表)
  - (3) 町立図書館の整備について (非公表)
  - (4) 学校給食共同調理場について (非公表)
  - (5) 鞍岡中学校跡地利用について (非公表)
  - (6) その他 (公表)

### ※ 議事録の公表・非公表について

会議録 午後 4 時 00 分開会

Q・・・Question (質問), A・・・Answer (回答)  
O・・・Opinion (意見)  
E・・・Explanation (説明)

#### 町長あいさつ

どうもお疲れ様です。

本日は、午後 6 時 30 分から五ヶ瀬ハイランドスキー場が明日から 2017 シーズンがオープンする訳であります。先日から教育長、教育次長に大変お世話になって、熊本市を除く近辺の 7 つの町村の小・中学生約 8,000 人にスキー場招待券を熊本地震の復興を応援する形で、直接、首長、教育長にご案内をさせていただいたところ  
です。そういうこともあって、今日は、マスコミを集めての記者発表、またレセプシ

ョンを木地屋の方ですということでもあります。

今日は、第2回の五ヶ瀬町総合教育会議ということでもあります。来週月曜日に行く庁議という管理職を含め、色んな本町の課題を協議する訳ですが、先ほど、教育長、総務課長とその事前協議を行ったところでございます。本日、協議する課題も一部含まれておるところでございます。

本来、この総合教育会議は、首長と教育委員の皆さんとの協議が、そもそもははじめの問題が発端となっていると思いますが、若干、本日の協議内容を見てみると、教育委員会で協議すべきこと、また、総合教育会議で協議しなければいけないこと、どこかで整理する必要があるのかなという議論も、私自身、話しをさせていただいたところでございます。そういった中で、この5項目を含めて喫緊の課題であると思っていますとこととでございます。

本日は、新たに寺本委員が参加いただいておりますし、色んな地域づくりに活動いただいている石井委員も新たに前回から出ていただいておりますので、率直な意見を交換しながら、スムーズな会議になればと思っておりますので、ご協力を宜しく願います。

(ここから町長が進行を務める。)

### 【3. 協議】

#### 1 町立学校施設改修について

※ 平成29年度予算編成段階であり、非公表とする。

#### 2 町史再編さんについて

※ 平成29年度から実施する予定であり、公表する。

##### ① 教育次長が説明する。

##### 説明事項

これについては、5月の総合教育会議でも協議をした。昭和56年に最初の町史を作って、35年以上経過しているということで、それ以降をメインに再編さんが必要である。

まずは、担当部署の明確化というのが課題である。それから、事務室の確保、職員の確保及び5名程度の編さん委員の委嘱、文化財保存調査委員さんや役場OB、教職員OBがもしいらっしゃれば、そういった方を考えている。

来年度の予算としては、編さん委員を委嘱して、その方に視察研修に行ってもらうための旅費を教育委員会では組んでいない。

担当部署が教育委員会で良いのかというのとはっきりしていないと認識しているが、教育委員会になるだろうと考えている。

そういったところを今後、明確化していただければということと上げています。

質疑、意見等

E1 【町長】古くなっている町史を再度、編さんするというので、関係と協議しつつ、平成29年度からスタートしようという話しをしている。先ほどありましたとおり、必要最小限の予算、編さん委員の選定、作業場所の確保を含めて協議に入っているところである。一つは、認知症カフェという福祉の目的で、12月議会で病院向かいの北部信用組合跡地を財産取得の提案をさせていただいて、理解いただきながら購入した。そこも一つの場所であり、町民センターの会議室も考えられるが、耐震設計に入ることになっている。そういった場所を含めて、検討をスタートさせたというところである。

Q1 【石井委員】教育委員会で担当するというのは、どんな形で指示するのか。

A1 【町長】数年前から先進地の視察研修を関係課の職員が行っており、今後の編さんについては、今までのやり方ではいけないだろうというものもあるので、当面、教育委員会が主体にやって行きながら、プロジェクトを作っていくことになると思っている。具体的にはまだ指示を出していない。

E1 【総務課長】どこかで来年度から進めるということであれば、きっちりと決めなければならない。前回も教育委員会がやることになるでしょうという方向性まで確認している。心配されるところは体制であったり、どう進めるかというところである。前回もたぶん編さん室という形を取るべきではないかという話しが出ていたので、方向性はそんなことで固めながら、今年はその方向性を確認して、来年度新たにしようという会議の内容だったと思う。どう進めるかという確認までやっておいた方が良いのではないか。教育委員会としては、今の人員では難しいと、やり方としては1人担当を付けるのか、併任でやって編さん委員を集めて編さん室として組むのかがまだ分からないので、予算は上げたけどという段階だと認識している。

E2 【町長】総務課長から今、説明があったが、前回、町史編さんについては総務課長に説明してもらっている。その中で、私自身も町史編さん室を作って体制を整えると説明している。先ほども触れたとおり職員も研修に行っているのだから、制度事業を活用してやれるかを検討しながら29年度からスタートするということである。

ただ、編さん委員がどういう体制が良いのか、現在の教育委員会の組織職員として体制的にどうなのかは、具体的に検討はしていないが、当然、3月までには整えてスタートすることになる。教育委員会がやるというこ

とで問題はあるか。

Q2 【教育長】3月までにこの体制を整えるということか。

A2 【町長】4月からは動けるようにしなければならない。

O1 【教育長】現状から考えると、併任で掛け持ちでやるというのは非常に厳しいと考えている。でも、教育委員会でやるということで進めないとスタートが切れない。

O2 【町長】編さん委員は慎重に決めなければならない。そこは外部の委員になると思うが、その選任も含めて、色々な情報をいただきながら、どういう体制が一番効率良く、いいものができるかということを議論して行く必要がある。当然、教育委員会の中でも協議してもらわなければいけないし、我々も協議していくことになる。ここで誰が良いでしょうという議論には、まだならない。

Q3 【教育長】3月まで教育委員会の案を固めると捉えて良いか。

A3 【町長】良い。

E3 【総務課長】前回の昭和56年までの時は、3名の編さん委員でされた。職員が全部やるかということは基本的に無いので、段取りのところを最初進めて行って、編さん委員が主にやって行くというイメージではないか。そういうイメージを出し合いながら、3月までに方向性をよその例とかを見ながら、来年度いっぺんに進むことではないので、10年くらいの計画を作るとかからスタートすれば良いのではないか。今の予算要求段階では、その辺りまでないので、補正予算で組むことになる。

作業場所もいっぺんに5人入るところは基本的にないので、徐々にそこ辺も含めて議論しなければいけない。

E4 【町長】長期スパンに立った取り組みになる。1年でやれるような作業でもないし、内容も難しい訳で、まずはどういった体制で、どれくらいを目途にやるかをしっかり議論しながら、3月までにはおおよそ方向性を見極める。

E5 【総務課長】以前は自前で3人でやってもらったが、今は業者委託でなければ出来ない。

#### 決定事項

【町長】主管課は教育委員会ということなので、しっかり企画課や総務課、庁議等でも議論しながら体制を整えていきたい。

3 町立図書館の整備について

※ 非公表とする。

4 学校給食共同調理場について

※ 非公表とする。

5 鞍岡中学校跡地利用について

※ 非公表とする。

6 その他

※ 公表する。

- ① 12月の第4回定例町議会の一般質問にあった「教育の町として発信してはどうか。」との質問に対する町の考えについて、教育次長が説明する。

**説明事項**

12月の定例町議会の一般質問で、「教育の町として発信してはどうか。」との質問があった。教育ビジョン10年目の取り組みの成果、全国学力・学習状況調査の結果が良かったこと、それを受けて時事通信社からの表彰があった。これらの事があり、全国に教育の町として発信してはどうかということであった。

このことについて、発信するのかどうかを含めて、協議いただきたい。

**質疑、意見等**

E1 【町長】 広報ごかせの（平成29年）1月号で新年のあいさつをする  
が、その中で、議会の質問で言われたのは、「これだけ子ども達が頑張っている。教育のまち五ヶ瀬を発信すべきではないか。」と言われた。十分発信はしていると回答しているが、今回、その中で、「まち・ひと・しごと創生本部会議」で定住・移住促進という大きな柱を作っている。五ヶ瀬の教育に魅力があつて、五ヶ瀬に住みたいという人がいると思うので、町長として教育のまち五ヶ瀬を発信すると（年頭あいさつに）書いている。是非、発信する動きで具体的な発信のやり方を考えて行きたい。またはいただきたいと考えている。

Q1 【町長】 どんな発信方法があるか。これは、追々発信して行けば良いのか。

A1 【教育次長】 年頭のあいさつに盛り込まれるというのが確認出来れば、（現段階では）良い。

閉会時刻 午後5時24分

(署名) 町 長

原 田 俊 平

教 育 長

島 崎 善 真 規

教 育 長  
職 務 代 理 者

松 本 学

教 育 委 員

興 梶 瞳

教 育 委 員

石 井 勇

教 育 委 員

寺 本 俊 文

会 議 録 調 整 者

武 内 秀 元